

第77回:阿房列車 出発進行～!

「阿房(あほう)と云ふのは、人の思わくに調子を合はせてさう云ふだけの話で、自分で勿論阿房だなどと考へてはゐない。用事がなければどこへも行つてはいけなと云ふわけはない・・・」、尊敬する内田百鬼園先生「阿房列車」の冒頭部分である。世に百聞中毒患者は多く、列車好きの阿川弘之氏は内田榮造先生へのオマージュとして海外版では「南蛮阿房列車」という列車旅行記を上梓され、国内版では上野発、札幌行き寝台列車カンオペアの乗車記「くらやみ阿房列車」という作品がある。阿川大尉によると、ご自宅に置かれている数十冊に及ぶ百聞作品群は家庭の常備薬のようなものだという。

それと巨龍の欠伸がどう関係するのだと詰問されても困るのだが、ついこないだ中国時代の仲間と一盞傾けながら話し合い、最近よく耳にする公共広告機構(AC)広告の通り、「『馬鹿』っていうと、『馬鹿』っていう」・・・そんな反撃を受けることになるので、そうでなくても角が立ちやすい我々は今後刺激的な言葉は極力避け、そんな方々をソフトに「阿房列車」と呼びし、相手の馬鹿、もといオツムの程度に応じて、「鈍行」とか、「快速」とかいう形容詞を加えて差し上げようと申し合わせたばかりである。それではどのような方々がそれに該当するかといえば、最近その友人が酒席の座興で中国ビジネスのベテラン、つまり長年にわたり中国業務に携わり、金融実務だけでなく、中国の歴史社会、風俗習慣や中国語にも詳しい日本人ビジネスマンたちに向かってこんなクイズを出したそう。

以下の意味を述べよ。 ①潤之、②聶榮臻、③李德、④富田事件

友人によると、この質問において最も好感の持てた回答は「すみません、一つも分かりません」だったという。同感である。これをスラスラ答える人は学者でなければ変態である。「こんな詰まらぬことばかり掘り葉掘り調べていたから、君は会社で役員になれなかったのだ」と言われるのがオチだ。しかし、何といつても一番みっともないのは、どこかの国の危機管理を掌握する大臣のように質問に直接回答せず、その場を問題のすり替えや諷諭やメタファー等のレトリックで切り抜け、後で慌てて官僚に答弁書を用意させ後講釈を垂れる人物である。たしかにこれは最低だ。

共産党史を研究する学者であれば、①毛沢東の字(あざな)、②十大元帥の序列第9位、③コミンテルンから派遣されたオットー・ブラウンの中国名、④江西ソビエト時代の内ゲバ事件・・・このくらいは知っておかないと、学問の世界で生きていくのは難しいだろうが、日本のビジネスマンがこんなことを知る必要はない。当社所属の約30名の中国人でも全問正解できる人はいないと推断する。由此可見、中国で10年働こうが、30年働こうが、こんなオタクの質問に対して中国人であれ、日本人であれ「知りません」と答えても、一向に恥は搔かないのである。プライドかメンツが邪魔して、正直に知りませんと白状する勇気がなく、こそこそとネットか何かで調べて、後講釈を垂れても、お里はすぐに知られてしまう。「中国四字熟語集」をぺらぺらと捲りながら、マスコミ対応としての「私の座右の銘」を探したり、本屋の店先で「P.F.ドラッカー名言録」だけを買って求め、得々とドラッカーの経営哲学を語るのと全く一緒である。「聶榮臻元帥は平津戦役において東北

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

野戦軍を指揮して……」と得意そうに語る方々には、意地悪く聶栄臻が戦場で救った日本人孤児の名前や、彼が終生好んだ四川料理のデザート名でも尋ねたくなる。

別に中国に限った話ではないが、ビジネスマンにとって大切なのは、知識のボリュームや知能指数(IQ)の高さではなく、知らない時にどうリカバーするかである。知らなくても恥ではない事柄や、あるいは答える意味のない質問であれば、「分かりません」と答えれば良い。証券マンがお客様から今年のアカデミー賞の主演女優は誰?と聞かれ、ナタリー・ポートマンを知らなければ「すみません。知りません」と答えるだろう。当たり前だ。もしも職務上答える義務がある質問や問い合わせであれば、時間を頂いて自分で調査するか、人に尋ねることになろう。ここで必要とされるIQとは「誰に尋ねるか?」である。白い猫でも黒い猫でもネズミを捕まえる猫は好い猫だと、隣の国の鄧じいさんが「白猫黒猫論」で述べたように、その調査方法はインターネットの検索エンジンを利用するか、友達に聞くか、上司に教えを乞うかは本人の自由である。但し、尋ねる相手だけは間違えてはいけない。

例えば古都西安の所在する「陝西省」の経済や歴史を中国人に尋ねるのは良いが「『陝西省』って日本語でどう読むの?」と中国人に尋ねる人は、中国株の世界でいえば「中国南車」か、「中国鉄建」級の阿房列車である。この地域は「せんせい・しょう」と呼ぶのが正しく、「きょうせい」と読む「きょう」は別字(侠・峽・挟など)である。いずれにしても、これは日本語の問題であり、毛沢東流にいえば「日本の人民内部の問題」である。一方、山水画の世界で有名な桂林の属する「広西壮族自治区」を「そうぞく」と呼ぶか、それとも「チワンぞく」と読むか、いずれも間違いではないのだが、ここから先は日本人としてのセンスや感性の問題である。結論からいえば、日本の新聞や通信社では「チワンぞく」と報道することが多く、「こうせい・チワンぞく・じちく」と読むのが一般的だろう。いずれにしてもA・Bどちらの読み方が日本では一般的ですか?と外国人に聞いても仕方ないだろう。尋ねる相手を間違えると、正しい回答を得るのは難しくなる。

こんなピント外れの行動を中国の諺では「縁木求魚＝木に縁(よ)りて魚を求む」という。築地の魚市場で上カルビ肉と牛レバーを売って下さいと頼むようなものである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年4月14日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。